

今回工事の概要

石神井川整備工事(その159)工事説明会のお知らせ

日頃より、東京都の河川事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、石神井川については、1時間に50mmの降雨に対応する河川整備を順次進めております。

この度、上御成橋下流区間において、石神井川の護岸整備を行うことになりました。
つきましては、工事の内容や施工方法などについて、下記の通り工事説明会を開催いたしますので、ご多忙中のところと存じますが、ご出席いただきたくご案内申し上げます。

ご不明な点は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

日時:平成28年12月21日(水) 午後7:00~午後8:30
場所:練馬区立石神井公園ふるさと文化館 1F多目的会議室
住所:練馬区石神井台5-12-6



【問い合わせ先】

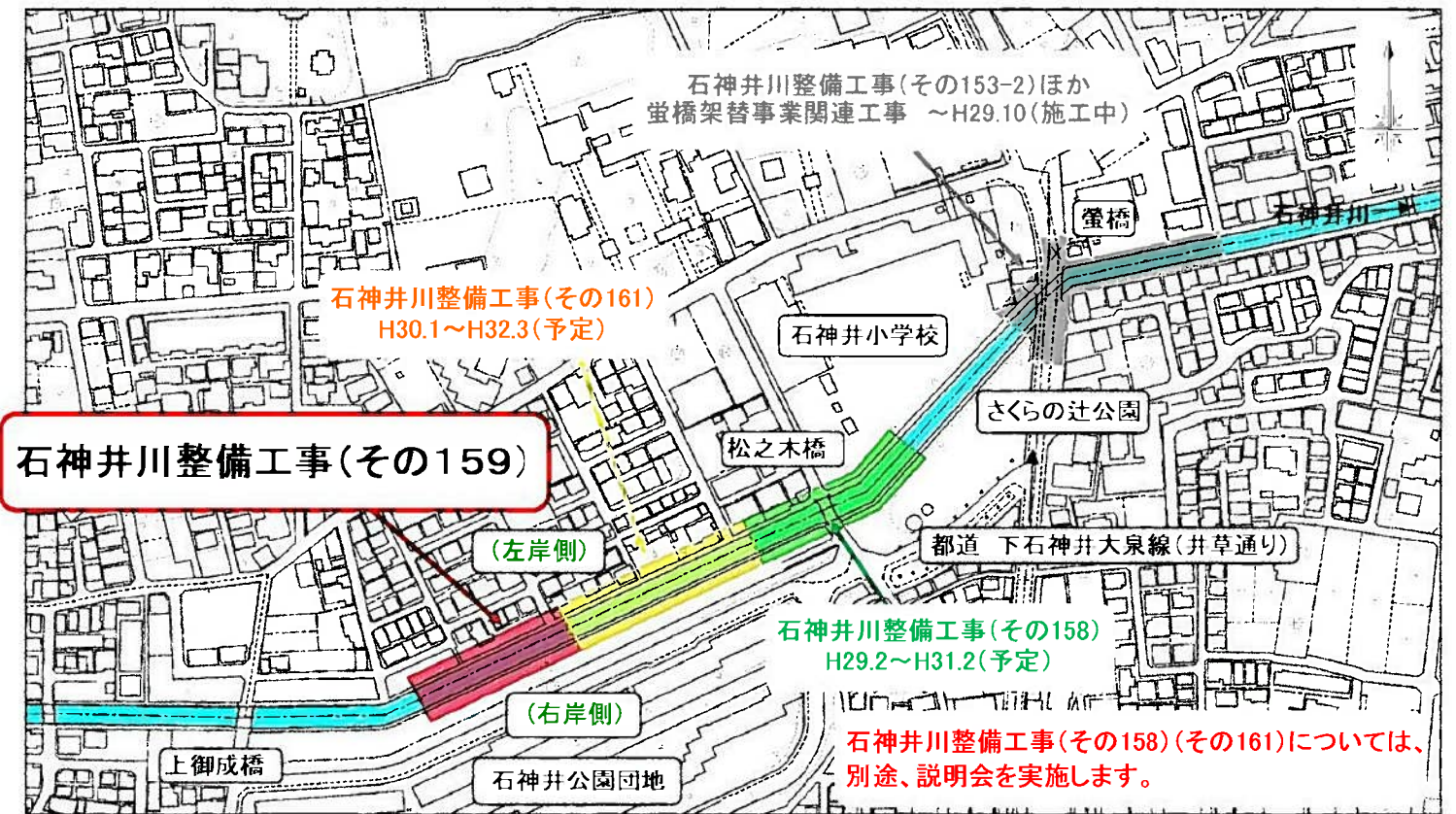
発注者:東京都第四建設事務所
電話:03-5978-1791
担当者:工事第二課 田村(たむら)、善林(ぜんばやし)

受注者:青木あすなろ・総成建設共同企業体
電話:03-6279-7440
担当者:現場代理人 古川(ふるかわ)

1. 工事件名 石神井川整備工事(その159)
2. 工事場所 練馬区石神井台一丁目地内から同区上石神井三丁目地内まで
3. 工事期間 平成28年12月下旬から平成30年2月(予定)
(緊急対応時を除き、日曜日、祝日は、作業を行いません。)
4. 施工時間 午前8時から午後6時まで(緊急対応を除く。)
5. 工事内容
○護岸整備

- ・上御成橋下流両岸の護岸を新たに整備します。
(左岸側:約85.1m 右岸側:約112.5m)
- ・施工方法は、回転圧入機にて鋼管杭を列状に設置し、鋼管の前面にコンクリートを打設します。
- ・工事期間中は、付近の石神井川管理用通路は「通行止め」となります。
※詳しくは裏面参照

整備箇所平面図



石神井川整備工事(その158)(その161)については、別途、説明会を実施します。

石神井川整備工事（その159）工事説明会での 主な質問と回答

- 質問1 完成断面図で左右の護岸の高さが違うのはなぜですか。
回答1 現状地面の高さが南側(右岸)のほうが高いので現状に合わせてこのような形になっています。
- 質問2 工事後に河床はどのくらい下がりますか。
回答2 河床については、今回の工事では変わりません。河床を掘る工事はまた別の工事で行います。
- 質問3 振動騒音を調査する時期はいつですか。
回答3 振動騒音の影響が大きいとされている工種毎に行います。
- 質問4 振動騒音について、定められた測定値を超えていないかどうか私たちが知る方法がありますか。
回答4 東京都のほうにお尋ねいただければお知らせすることはできます。また、現場の仮囲いに測定値を掲示します。
- 質問5 左岸の歩行者迂回路が、次の工事で松之木橋が使えなくなるときに通行できなくなりませんか。
回答5 次の松之木橋の工事で車両は通行止めにさせていただきますが、迂回路として人が通行する仮橋を2か所設置します。
次期工事の説明会で仮橋の設置位置などの説明をさせていただきます。
- 質問6 蛸橋の工事はいつ終わるのですか。また蛸橋の工事が終わったらさくらの辻公園の工事用の仮囲いはなくなりますか。
回答6 蛸橋の工事はインフラ工事も合わせて平成29年12月に完了する予

開催日：平成 28 年 12 月 21 日

会場：練馬区立石神井公園ふるさと文化館

定です。

松之本橋の工事などが完了する平成 31 年 2 月まで仮囲いは必要となりますが、設置範囲については検討して、次期工事の説明会の時にお知らせします。

質問 7 現在、護岸工事が終わって河床に水草などが生育している場所の工事はもうないと考えてよろしいですか。

回答 7 河床につきましては今後、別の工事で掘削します。いったんは水草などが失われますが、河床をコンクリート等で固めるという計画ではないので、自然の力で現在のような形に戻ると考えています。

質問 8 都市計画線で通路の幅が 4m と書いてありますが、本当に取れていますか。

回答 8 基本的には通路の幅は植栽帯を含め 4m を確保して工事を進めています。将来的に護岸の補修工事をするときなど、維持管理を行うときに必要なスペースとして、この 4m という幅を取らせていただいています。